

チンダル現象

普段透明できれいな川の水も台風や大雨のあとでは濁った水で流れる。土の塊が水と共に流れているからである。肉眼ではみえないような大きさの土の塊まりも大量にあると陽の光に反射されて容易に観察される。水道水は透明度が高いが、極めて小さい微粒子が混在している場合があり、レーザー光のような強い光をあてると光は粒子で散乱され、レーザー光が通過している様子が線として見えることある。極微小な粒子が混在する液体は肉眼では何も含まれていないのと同様に透明にしか見えないが、強い光を用いれば光散乱現象が観察される。このような現象をチンダル現象という。

松村英夫